



一時滞在ビザプログラムとは？

一時滞在ビザプログラム（TVP）は、オーストラリアに一時滞在ビザで居住し、家庭内暴力の被害に遭っている女性を支援するプログラムです。

ウーマンズ・リーガル・サービス・クイーンズランドは、TVP を通じた法的・社会的支援を提供します。例えば、家族法、家庭内暴力、移民法に関する問題について支援が可能な場合があります。

家庭内暴力とは？

家庭内暴力とは、あなたの身近な人があなたを傷つけたり、傷つけると脅したりする行為のことです。その相手とは次のような人のことです。

- パートナーまたは元パートナー
- 家族の一員
- 家族の一員または友人でもある、無償の介護者

オーストラリアでは州と地域により、家庭内暴力の法的定義が異なります。移民規則では、家庭内暴力には、あなたの身近な人が以下の行為を行うことが含まれます：

- あなた、あなたの家族、あなたのパートナーまたは元パートナーの家族を傷つけたり脅したりする
- あなたの所有物を壊すと脅す
- あなたを心配させたり、不安な気持ちにさせたりする

移民規則はオーストラリア全土に適用されます。

さらに詳しくは、当団体の[家庭内暴力に関するファクトシート](#)でご確認いただけます。

家庭内暴力によるスポンサーとの別居

家庭内暴力のためスポンサーと別居した場合、永住権を申請できる可能性があります。申請が承認されれば、オーストラリアに永住することが可能です。

移民規則の家庭内暴力に関する規定に基づき申請することができます。これらの規定は、オーストラリアのどこに居住していても適用されます。

以下の条件に該当する場合、申請できる可能性があります。

- 別居するまでは、真剣で「継続的」な関係にあった
- 一時的なパートナービザを保持している、または永住パートナービザを申請している

本件はビザのステータスに影響する可能性があり、遵守しなければならない期限があるため、法的助言を求めることをお勧めします。

DVO の申請

あなたとあなたのお子さんを保護するために、家庭内暴力保護命令（DVO）を申請できる場合があります。DVO は、地方裁判所が出す法的命令です。この命令は、保護を求める相手に対し、特定の行為や行動を禁止することを伝えるものです。

DVO の申請は、ビザのステータスに影響を与える可能性があります。DVO の申請前に、法的助言を求めることをおすすめします。

元スポンサーとの間に子供がいる場合

パートナービザの申請中で、元スポンサーとの間に子供がいる場合、永住パートナービザを申請できる場合があります。

以下の条件を満たす場合、申請できる可能性があります：

- 元スポンサーがオーストラリア国籍を持っていること
- 家庭内暴力や家族間の暴力のため別居していること
- パートナービザを申請していること
- 一時的なパートナービザを保持していること
- 元スポンサーとの間に子供の養育に関して合意があること

できる限り早急に法的助言を求め、ご自身の選択肢についてご相談ください。

養育に関する取り決めとは？

養育に関する取り決めとは、あなたと元スポンサーが別居後に子供をどのように養育するかを定める計画です。

詳細は、当団体の[別居後の養育に関する取り決めについてのファクトシート](#)でご確認いただけます。

申請要件を満たさない場合

家庭内暴力の被害を受けたにもかかわらず、家庭内暴力に関する規定に基づく永住権の申請要件を満たさない場合、当団体をご相談に応じます。

以下の申請を含む、他の選択肢に関するご相談も承ります：

- 親ビザまたは保護ビザの申請
- 移民大臣の関与

当団体が紹介状を発行し、難民・移民・リーガル・サービス（RAILS）から専門的な助言と支援を受けることができる場合もあります。例えば、必要な法的支援が移民問題に限られる場合がこれに該当します。RAILS は、難民、亡命希望者、移民を対象に、無料の移民に関する法的支援を提供しています。RAILS は、職業によるビザ取得のための助言を提供してくれるかもしれません。

当団体の他のチームも、以下の分野での法的支援が必要な場合、支援できる可能性があります：

- 家族法
- 家庭内暴力法

できる限り早急に法的助言を求め、ご自身の選択肢についてご相談ください。

事例：リンダが TVP で支援を受けた方法

注：この事例に登場する人物の個人情報は、プライバシーと機密保持のため変更されています。

リンダは短期学生ビザで来豪しました。

オーストラリア滞在中、リンダはオーストラリア国籍のスティーブと交際を始めました。スティーブはリンダのパートナービザのスポンサーになりました。

数年後、リンダとスティーブは子供を授かりました。

子供が生まれた数年後に、リンダは自身と子供の身の安全を心配し、スティーブと別居したいと考えました。

リンダが経験した家庭内暴力

スティーブはリンダが友達を作ったり、海外の家族と連絡を取ったり、働いたりすることを許しませんでした。

彼はまた、家族のすべての財務を管理していました。

また、彼は次のような脅迫もしました：

- 彼女に身体的な危害を何度も加える
- 昼間、彼が仕事に行く間、彼女を家に閉じ込める

リンダが別居を申し出た時

リンダがスティーブに別居したいと告げた時、彼は彼女のパスポートを奪い、彼女を強制送還し、子供を奪うと脅しました。

近所の住民がこの言い争いを耳にし、警察に通報しました。警察はリンダを地元の家庭内暴力相談サービスに紹介しました。彼らはリンダのために通訳を手配し、安全計画の作成を支援しました。

安全計画とは、交際中または交際を終える際に安全を確保するための計画です。家庭内暴力相談サービスは、法的助言を受けるよう、リンダに TVP を紹介しました。

スティーブは裁判所へ書類を提出し、養育に関する命令を請求しました。裁判所は、子供の養育に関する取り決めを決定するため、養育に関する命令を発令します。

さらに詳しい情報は、当団体の[裁判所が子供の養育に関する命令を出す際に考慮する事項についてのファクトシート](#)をご覧ください。

TVP を通じてリンダを支援した方法

当団体は以下の手順に従ってリンダを支援しました。

1. 内務省（DHA）にリンダの関係が終了したことを伝えました。
2. DHA に、リンダとスティーブがかつて真剣に交際し、子供を授かっていたことの証拠を提出しました。
3. リンダの DVO 申請を支援しました。また、当団体はリンダが家庭内暴力や家族間暴力の被害を受けた証拠を DHA に提出する支援をしました。これにより、DHA はリンダに永住権を迅速に付与する必要があることを理解しました。
4. リンダが裁判所から親権命令を取得する支援をしました。

支援の提供

ご自身や知人が差し迫った危険にさらされている場合、000 に電話をしてください。

TVP チームによるサポートをご希望の場合は、当団体までご連絡ください。

電話番号：1800 957 957。

社会的支援

DV Connect

DV Connect に連絡して支援を受けることができます。電話番号：1800 811 811。

赤十字

赤十字に連絡して支援を受けることができます。電話番号：1800 733 276。

移民女性支援サービス

移民女性支援サービスに連絡して支援を受けることができます。

電話番号：(07) 3846 3490。

法的支援

難民・移民・リーガル・サービス (RAILS)

RAILS に連絡して支援を受けることができます。電話番号：(07) 3846 9300。

クイーンズランド地域法律センター

クイーンズランド地域法律センターに連絡して、地元の地域法律センターを探すことができます。

電話番号：(07) 3392 0092。

リーガル・エイド・クイーンズランド

リーガル・エイド・クイーンズランドに連絡して支援を受けることができます。

電話番号：1300 65 11 88。

このファクトシートには一般的な情報のみが含まれており、法的助言の代用となるものではありません。